



# ふくもっちゃんの部屋 ~仕掛けのある小説~

ストーリーを楽しむのはもちろんのこと、本の装丁や製本に趣向が凝らされた小説をご紹介します。

## 『N』(道尾 秀介著)

全6章が収録され、一章ごとに上下反対に印刷されています。読む順番は読者の自由で組み合わせは720通り。話の展開はあなたの選択次第。

## 『ダブル・ミステリ』(芦辺 拓著)

表から「月琴亭の殺人」裏から「ノン・シリアルキラー」を読み進めるミステリ。その後袋綴じになった解決編を楽しむ形になっています。

## 『世界でいちばん透きとおった物語』(杉井 光著)

多くは語れませんが、電子書籍化は難しいと言われている小さな仕掛けがほどこされています。読んでからの楽しみです。

著者たちが試みるユニークな読書体験をこの機会に。



## とき 朗読会「ことのはの時間」を開催します

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和8年6月13日(土)午後2時30分~(40分程度)  
場所 コラッセふくしま3階 302会議室  
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です

### 図書館カレンダー 5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 図書館カレンダー 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2026年5月1日発行

編集:福島市西口ライブラリー  
〒960-8053  
福島市三河南町1-20  
Tel.024-525-4023

発行:福島市立図書館  
〒960-8018  
福島市松木町1-1  
Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》



印は休館日

印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

福島市西口ライブラリー広報



# 西口ライヴ発信

2026年  
5・6月号

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう!

## 新着本案内



### 『自然災害のトリセツ』

高橋 典嗣 監修  
昭文社(369 シゼン)

日本は大きな地震や噴火、異常気象など自然災害が多い国です。その理由をメカニズムとともに図や写真で解説します。南海トラフ巨大地震や富士山噴火といった将来起きるとされる災害も紹介。避難の基本マニュアルも掲載しています。



### 『やってみたいスマホ活用術』

岡嶋 裕史 監修  
高橋書店(007ヤツテ)

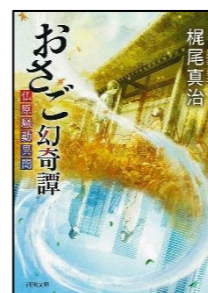
アラーム機能を使って薬の飲み忘れを防止したり、散歩中に見つけた花を写真に撮り検索したりと、あれこれ使いこなしたいスマホ。基本の操作から気になる安全面まで、普段の生活を快適にする使い方を伝授します。



### 『専門サロンに教わる中国茶を愉しむ12ヶ月』

磯部 優子 監修/メイツ出版(596センモ)

お茶は約5000年前、中国から世界に広がりました。中でも中国茶は2000種類以上あり、地理や気候、作り手の技によって様々な風味を楽しめます。本書では茶葉の種類や美味しい淹れ方、茶器の特色などを基礎から紹介します。



### 『おさご幻奇譚』

梶尾 真治 著  
河出書房新社(PFカジオ)

350年前の日本に迷い込んでしまった裕麻が出会ったのは、おさごという不思議な少女。史実では、おさごは謎の一揆に巻き込まれ命を落とす事になっていた。裕麻は時を超える力を使っておさごの運命を変えることができるのか?



### 『孔子は、いかにして

「神」になったのか』

湯浅 邦弘 著

NHK出版(124ユアサ)

菅原道真やローマ皇帝など、死後に神として祀られる存在になった人がいます。儒学の祖、孔子もその内の1人です。思想家だった孔子がいかにして中国思想の礎となったのか。視点を変えて儒教を見つめ直します。

# 新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

できる Gemini 清水 理史・できるシリーズ編集部 著/インプレス(007デキル)	花嫁が山を下るとき 赤川 次郎 著/実業之日本社(Fアカガ)
できる Canva コツン・できるシリーズ編集部 著/インプレス(007デキル)	あなたの命綱 久坂部 羊 著/朝日新聞出版(Fクサカ)
幸せな「円満離婚」がかなう本 飯野 馨巳 著/共栄書房(324イノ)	七ツ下がりの女たち 志川 節子 著/朝日新聞出版(Fシガワ)
最新コンプライアンスの基本と実践がよくわかる本 後藤 慎吾 著/秀和システム新社(335ゴトウ)	愛しいチグサ 島田 荘司 著/講談社(Fシマダ)
3コマでわかるビジネスマナー 井手 奈津子 著/翔泳社(336イデナ)	山田太郎の話 水沢 秋生 著/小学館(Fミズサ)
予備校盛衰史 小林 哲夫 著/NHK出版(376コバヤ)	つくろうひと 村山 早紀 著/ポプラ社(Fムラヤ)
初心者さんのためのかぎ針と棒針で編むマフラーと帽子 寺西 恵里子 著/日東書院本社(594テラニ)	特殊作戦捜査官 渡辺 裕之 著/中央公論新社(Fワタナ)
いい写真は誰でも撮れる 幡野 広志 著 ヨシタケ シンスケ イラスト/ポプラ社(743ハタノ)	ヘルメットダイバーズ 小森 陽一 著/集英社(PFコモリ)
ゲは言語学のゲ 吉岡 乾 著/講談社(804ヨシオ)	陽だまりランチボックス 高森 美由紀 著/KADOKAWA(PFタカモ)
名前のないカフェ ローベルト・ゼーターラー 著 浅井 晶子 訳/新潮社(943ゼタラ)	チャーハン兄弟 行成 薫 著/潮出版社(PFユキナ)

# 作家と福午

『夫婦善哉』等で知られる大阪の無頼派作家、織田作之助は作家仲間引き込まれて以来、京都や阪神の競馬場へ頻りに通っていました。ただ、その資金には難儀していたようで、家計から出してもらったり姉から調達していたようです。几帳面な性格で、家計簿には詳細な損得が残されています。当時の競馬場の様子がよくわかる短編『競馬』の主人公は教師で、「教師の分際で競馬遊びなど出来るような男ではない」と描写されています。当時、教師は国から馬券購入の自粛を促されている立場だったようです。ですがそんな要請で止められる訳もなく、五木寛之もエッセイの中で教師だった父から競馬場に行ったことを口止めされたと明かしています。

参考文献：『織田作之助』オダサク倶楽部 編集/河出書房新社(910. 2オダサ)

『風に吹かれて』五木 寛之 著/ベストセラーズ(914. 6イツキ)

ライブラリアンの

# 展示★名作案内



## 空

～見上げてみよう！～



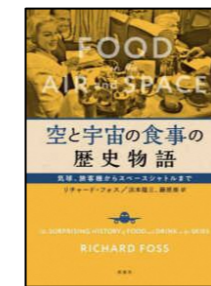
「猫が顔を洗うと雨」は迷信？

『天気のことわざは本当に当たるのか考えてみた』  
猪熊 隆之 著  
ベレ出版(451イノク)  
「つばめが低く飛ぶと雨」「朝焼けは雨、夕焼けは晴れ」など、昔から言われる天気のことわざには、どれくらいの信ぴょう性があるのか？ ことわざができた経緯や最新の気象傾向をふまえ、当たる確率を検証します。



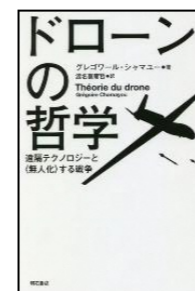
熱気球に人生を捧げた男の姿がここに

『最後の冒険家』  
石川 直樹 著  
集英社(289カンド)  
熱気球での単独太平洋横断飛行挑戦の途中で行方不明となった神田道夫。かつて副操縦士として同乗した著者が、富士山越えを出発点に、滞空時間や長距離飛行などの数々の記録を樹立した神田の挑戦と失敗の足跡をたどります。



空や宇宙での調理は難しい！ 挑戦の記録。

『空と宇宙の食事の歴史物語』  
リチャード・フォス 著 浜本 隆三・藤原 崇 訳/原書房(687フオス)  
限られた空間や制約の中で、どれだけ魅力的な食事を提供できるか。これまで数多の料理人や航空会社がこの難題に挑んできました。気球から旅客機、スペースシャトルの時代を振り返りながら、空での食事文化の変遷に迫ります。



ここ数年で一気の様変わりした戦争の問題点とは。

『ドローンの哲学』  
グレゴワール・シャムユー 著 渡名喜 庸哲 訳  
明石書店(538シヤマ)  
空からの撮影や農業利用など、身近になったドローンの技術。特に発展著しいのは、武器を装備した戦闘ドローンの分野です。直接手を下さず相手に攻撃できるという事によって生まれる、倫理的、政治的な問題について考察する1冊です。



45歳の彼らが紡ぐ大人の青春物語です。

『オオルリ流星群』  
伊与原 新 著  
KADOKAWA(Fイヨハ)  
国立天文台の元研究員の彗子は、かつての仲間である久志、修、千佳と天文台の建設を試みる。28年ぶりに集結した彼らは、共に巨大タペストリーを制作した高校時代に思いを馳せるも、当時の謎も解き明かされていき…。